

薬学部薬科学科

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を修得し、さらに本学科の所定の卒業要件を満たした人に対して、卒業を認定し、学士（薬科学）の学位を授与します。

- 人々の生活を支援する研究者・技術者としての強い自覚をもち、広い教養と豊かな人間性を備え、社会で活躍する能力
- 研究者・技術者として深い専門的な知識や技能を備え、地域社会や国際社会で活躍できる能力
- 研究者・技術者として適切にふるまうことができる道徳的能力や思考力、判断力、研究力を有し、高度な科学技術に貢献できる能力
- 薬学、化粧品・香粧品学、食品・栄養学の素養を有し、関連する広範な分野で主体的かつ協働的に貢献できる薬科学研究者・技術者になる能力
- 薬科学の基礎知識を基盤としてさらに高い専門性を有する薬科学を学び研究力を発展させることができる能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、基本科目、専門科目および関連科目を配置し、以下のカリキュラム・ポリシーを設定しています。

- 生活者を支援する研究者・技術者としての自覚を育て、道徳的能力および幅広い教養と豊かな人間性を養うため、基本科目のフレッシュマンセミナー、総合薬科学分野Ⅰの医薬品・食品・化粧品概論など、さらに関連科目を配置しています。
- 基本科目は、大学における学習方法や、学生生活の指導をつうじて自立した社会人としての意識付を行い、英語でのコミュニケーション能力の基礎を養うために、英語科目を配置しています。

- 専門科目（総合薬科学分野、基礎薬科学分野、生理・治療分野および医療薬科学分野）は、薬、食および化粧品などとして開発・生産される化学物質に関する知識集約型産業分野において活躍できる高い専門性を有する研究者・技術者を養成するために配置しています。
- 関連科目には、幅広い教養と豊かな人間性を養うために、人文系科目、社会系科目、外国語科目、体育系科目および語学教育センター講座科目を配置しています。
- 異文化理解力および国際的コミュニケーション力の向上を目指し、海外姉妹校で単位を修得するセメスター留学制度を設けています。
- 薬科学卒業研究、専門語学科目をつうじて、研究者・技術者として適切にふるまうことができる思考力、判断力、実践力、国際コミュニケーション力を養います。
- 薬科学卒業研究では、研究の基礎となる課題発見能力、問題解決能力、自らの考えを表現・発信するプレゼンテーション能力を身につけます。
- 臨床検査技師の素養・資格をもった薬科学技術者を目指す人のために、必要な科目を必修、選択および自由科目として配置しています。
- 中学校・高等学校教諭（理科）を目指す人のために、教職関連科目を配置しています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

薬科学科は、基本的な薬科学の知識に加え、研究者・技術者として専門知識と実践力、さらには倫理性を兼ね備えて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。したがって以下のような人の入学を求めます。

関心・興味・意欲

- 医薬品関連、機能的食品、化粧品や機能性化粧品などの研究者または開発者になりたいと考えている人。
- 生命科学関連の研究者になりたいと考えている人。
- 薬科学研究者・技術者として、グローバル化する社会に貢献したいと考えている人。
- 医薬品、機能的食品、化粧品分野で起業したいと思っている人。
- 人々の健康と安心・安全に寄与して働きたいと思っている人。

期待する能力

- 薬学・薬科学教育に対応できる十分な基礎学力をもつ人。
- 高等学校で履修すべき教科・科目 英語、国語、数学、理科（化学、生物）（物理も履

修することが望ましい)。

- 教養を深め、専門知識の向上を目指して、資格取得のため、自ら積極的に学ぶ主体性と意欲をもつ人。
- 論理的・科学的な思考に基づいて物事の課題や問題点を捉え、解決するために意欲的に努力する人。
- 基本的なコミュニケーション力・プレゼンテーション力をもつ人。

(2021年4月入学者用)